

安全データシート

1. 製品及び会社情報

整理番号	03-012
製品名	コンドル樹脂ワックス エコシャインⅡ
会社情報	会社名 山崎産業株式会社
	住 所 兵庫県伊丹市北伊丹6-67
	電話番号 072-782-0991
	F A X 番号 072-770-5779

2. 危険物有害性の要約

GHS分類	
物理化学的危険性：	該当しない
健康に対する有害性：	該当しない
環境に対する有害性：	該当しない
	※記載のないものは分類対象外、分類できない
ラベル要素：	
絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
成分	ノンメタルアクリル系樹脂、アルカリ可溶性樹脂、可塑剤、水、その他（水分約78%）
官報公示整理番号（化審法）	既存
官報公示整理番号（安衛法）	既存
C A S 番号	非公開

4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移動させ、影響があれば医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水またはぬるま湯を流しながら十分に洗浄する。 異常があれば、医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	炎症による痛みをおこすことがあるので、流水で15分以上洗った後、直ちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	多量の水、牛乳などを飲ませて直ぐに医師の手当てを受ける。 被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはいけない。
医師に対する特別注意事項	情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の危険有害性	加熱又は火災時に有毒ガスを発生する恐れがある。
特有の消火方法	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火を行うものの保護	消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡・マスク等）を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
------------	--

環境に対する注意事項	必要に応じた換気を確保する。
除去方法	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。 少量の場合、吸着剤（土・砂等）で吸着させ取り除いた後、 残りを大量の水で洗い流す。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
二次災害の防止策	盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから、ドラム等に回収する。 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。 漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄の設備を設置する。
注意事項	眼及び皮膚への接触を避ける。
安全取扱い注意事項	作業場の換気を十分行う。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
保管	
適切な保管条件	直射日光を避け、通気の良い暗所で容器を密閉して保管する。 保管温度は0℃～30℃が望ましい。
安全な容器包装材料	製品使用容器に準ずる。

8. 暴露防止 および 保護措置

設備対策	蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
許容濃度	
管理濃度	設定されていない。
保護具	
呼吸用の保護具	通常の取り扱いでは特に必要ない。
手の保護具	不浸透性(耐薬品、耐油)保護手袋
眼の保護具	側板付き保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣
適切な衛生対策	取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

9. 物理的 および 化学的性質

物理的状態：	
形状	水性エマルジョン
色	乳白色～微黄褐色
臭い	微特異臭
pH	pH 7.7付近
物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲：	
沸点	100℃付近と推察する。
融点（流動点）	-5℃以下
分解温度	データなし
引火点	示さず
発火点	データなし
爆発特性：	
爆発限界	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重	1.03付近（20℃）

粘度	4.6mPa・s 付近
溶解性	
水溶解性	水と任意に相溶する。
溶媒溶解性	データなし
オクターノール/水分配係数	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の使用条件で安定。
反応性	自己反応性なし。
避けるべき条件	40℃以上の高温、凍結する環境（変質の原因となる）
避けるべき材料	酸類、塩類、溶剤類との接触（いずれも分離促進する）
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし
その他	情報なし

11. 有害性情報

健康に対する有害性	情報なし
-----------	------

12. 環境影響情報

環境に対する有害性	情報なし
その他	: BOD ₅ 90mg/L・COD _{Mn} 35mg/L

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	十分に水で希釈し、排水管の目詰まりを防止する。また、大量に廃棄する必要がある場合は、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
焼却する場合	関連法規・法令を遵守する。
廃棄する場合	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
汚染容器・包装	空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に廃棄物処理法（廃棄物及び清掃に関する法律）、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国内法規制	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
国際法規制	航空輸送は I A T A 及び海上輸送は I M D G の規則に従う。
国連分類	該当しない
国連番号	該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

国内適用法：	
化審法	該当しない
消防法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒劇物法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない
PRTR法	該当しない

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により訂正されていることがあります。また、注意事項は通常の取扱を対象としたものであって特殊な取扱の場合は用途、用法に適した安全対策を実施した上でご使用ください。

なおこの記載内容は情報提供であって保証するものではありません。

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）：

非該当。（報告義務なし）

内分泌攪乱作用を有すると疑われる化学物質（環境ホルモン）〔環境省〕：

原料として使用していません。

室内空気汚染物質濃度指針値対象物質（シックハウス対象物質）〔厚生労働省〕：

厚生労働省指針値該当13物質成分を原料として使用していません。

リン系化合物：

原料として使用していません。